

『大阪・関西万博開催に向けて 未来社会の創造』

主催：(一財)阪神高速先進技術研究所
共催：阪神高速道路(株)、阪神高速技術(株)、阪神高速技研(株)
後援：(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会
(一社)日本橋梁建設協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会

一般財団法人阪神高速先進技術研究所(HIT)は1973年に設立されて以来、40年以上にわたり、阪神高速道路を中心とする都市高速道路の建設、管理に関する調査研究を実施してきました。我が国の高速道路が開通してから60年近くとなり、道路の建設、管理を取り巻く環境は大きく様変わりしています。少子高齢化の時代においては、新たなネットワークを構築するだけでなく、膨大なストックを次の時代に健全な形で継承していくことが必要となります。

2025年に開催される大阪・関西万博を契機とし、次世代の人たちにとっても魅力的な社会を構築すべく、新たな技術開発や革新による未来社会の創造が求められています。

本講演会では、2025年に開催される大阪・関西万博にて会場デザインプロデューサーを務められる建築家の藤本壮介様からの特別講演、交通ネットワーク交通流解析などを専門としながら、モバイルコミュニケーションや自動運転・ライドシェアリングなどの新しい技術にも取り組まれている東京工業大学及び神戸大学 名誉教授の朝倉康夫様からの基調講演、及びHITより最新の研究報告を実施いたします。

今回の講演が、技術者をはじめとする多くの方々にとって新たな課題への挑戦や技術革新の必要性などを再認識いただく、よい機会となればと考えます。皆様方より多数のご参加を心よりお待ちしております。

2023年
11月21日(火) 13:15-17:00
(受付開始時間 12:45~)

開催方法：会場開催及びWEB配信併用のハイブリッド開催
会場：中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階【中之島会館】 大阪市北区中之島3-2-4
費用：無料
定員：会場150名 ※会場人数を超過する場合は、抽選によりWEB聴講とさせていただきます。
申込方法：<https://www7.webcas.net/form/pub/techcenter/lecture2023>より申込
申込期間：2023年11月7日(火) 17時まで

～開会挨拶～ 13:15~13:25 (10分)

(一財)阪神高速先進技術研究所 理事長 **西岡敬治**

～特別講演～ 13:30~15:00 (90分)

「Between Nature and Architecture」

建築家 大阪・関西万博会場デザインプロデューサー

藤本壮介氏



(c) David Vintiner

～休憩 (15分)～

～基調講演～ 15:15~16:15 (60分)

「阪神高速のネットワークシステムと交通マネジメント」

東京工業大学・神戸大学 名誉教授

朝倉康夫氏



～研究紹介～ 16:20~16:50 (30分)

「未来社会に向けたデータの活用について」

(一財)阪神高速先進技術研究所 上席研究員

慈道充



「Between Nature and Architecture」

大阪・関西万博をはじめ、国内外で携わってきた様々なプロジェクトを紹介します。「Between Nature and Architecture」をキーワードに、秩序とカオス、プライベートとパブリック、自然と人工といった一見対立するよう思える要素を両立させることで、新たな建築の価値を創造する試みについてお話しします。これまで多くのプロジェクトに関わってきましたが、私が常に心掛けているのは、それぞれに固有の文化や歴史、状況を尊重し、多様な声に耳を澄ませること。そこから新たな価値の創造に繋げることです。それは今回のイベントテーマである「未来社会の創造」に不可欠なことだと感じています。皆さんと一緒に、この重要なテーマについて考える機会にできればと思います。

講師：藤本壮介氏

<略歴>

1971年北海道生まれ。
東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。
2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞(ラルブル・プラン)に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2025年日本国際博覧会の会場デザインプロデューサーに就任。2021年には飛騨市のCo-Innovation University(仮称)キャンパスの設計者に選定される。
主な作品に、ブダペストのHouse of Music(2021年)、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設(2021年)、白井屋ホテル(2020年)、L'Arbre Blanc(2019年)、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013(2013年)、House NA(2011年)、武蔵野美術大学 美術館・図書館(2010年)、House N(2008年)等がある。



(c)Sou Fujimoto Architects

「阪神高速のネットワークと交通マネジメント」

阪神高速道路のネットワークの発展経緯を振り返りつつ、新たな国土形成計画や改正された道路整備特別措置法と整合したネットワークのあり方を考える。利用者の行動や車両軌跡を表すプローブデータやZTD(Zen Traffic Data)を用いて、道路の更新と進化が交通に及ぼす影響を把握しつつ、安全・円滑で環境負荷の少ない流れを達成するための交通マネジメントの方策を議論したい。

講師：朝倉康夫氏

<略歴>

1979年京都大学工学部土木工学科卒業。1981年大学院修士課程修了後、京都大学助手。1988年工学博士の学位取得後、愛媛大学着任。講師、助教授を経て、1998年より教授。2002年に神戸大学、2011年に東京工業大学に異動。2022年同大学退職。専門は交通工学。1996年阪神高速交通管制委員会システム部に部会員として参画。以降、同委員会幹事長、委員長、交通渋滞対策委員会委員長を歴任。2013~2022年の間、技術審議会交通技術委員会委員長。



「未来社会に向けたデータの活用について」

近年DX(デジタルトランスフォーメーション)への気運が高まり、データ活用に向けたプラットフォームの構築や要素技術の開発が進んでいる。過去にBMS(Bridge Management System)の開発に関わった経験を踏まえて、今後、どのようにデータを活用すべきかを考えたい。



～会場アクセス～

【中之島会館】

住所：大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
《公共交通機関によるアクセス》

- 大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅下車4番出口直結
- 京阪中之島線「渡辺橋」駅下車12番出口直結

